



子宝神輿（東仙道）

美都町の夏まつり

夏の暑さが本格的になってくる頃、美都町内では様々な夏祭りが行われ、暑さに負けない賑わいをみせます。

東仙道地区では毎年7月23日、村おこし祭りが開催されます。これは、昭和58年の豪雨災害により大きな被害を受けた住民の元気を取り戻すこと、災害を忘れないことを目的に、昭和61年から毎年続けられている祭りです。

この御社は河川改修に伴い立退きとなった御社を近所の有志で国道沿いに村おこし社として移転し、御祭したものです。

また、この祭りには『子宝神輿』といわれる大きな男性自身を形どった神輿も出され、この神輿に乗った女性は子宝に恵まれると云われ、祭りの賑わいも増しているところです。

今年は地区の出し物の他に高津中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏が行われ、華やかに開催されました。また各団体のお店や露店が沢山出店され、参拝者約700人が祭りを楽しましました。

（次ページへつづく）

- 美都町の夏まつり.....表紙、2ページ
- 美都町今昔 58災害.....3ページ
- 町内施設紹介.....3ページ
- 美都町内イベント情報.....4ページ
- 美都地域協議会.....4ページ
- 浴衣で？ピンポン大会.....4ページ

★ 美都町内イベント情報 ★

- ★ 10月24日(日) 第19回いなほコンサート(ふれあいホールみと)
- ★ 11月2日(火) 美都町神楽共演大会(美都中学校)
- ★ 11月3日(水・祝) みとふるさとまつり(さくらドーム)
- ★ 11月14日(日) 二川農林業文化祭(二川小学校)
- ★ 12月9日(木) 夏川りみコンサート(ふれあいホールみと)
全席指定 3,800円【当日 4,200円】
開場18:00 開演19:00
- ★ 12月19日(日) 石見神楽久木社中 玄武の舞
(ふれあいホールみと)

※「益田市」のホームページもご覧ください。

※都合により、やむをえず中止することがあります。ご了承ください。

美都地域協議会について

平成22年4月及び6月に開催された協議会の内容についてお知らせします

☆主な協議内容

- *地区振興センター・公民館の運営体制答申について
- *市立学校給食センター(仮称)建設事業基本計画について
- *美都地域振興補助金について

4月及び6月の協議会で地区振興センター・公民館の運営体制について答申内容を協議しました。特に6月は、3地区運営委員会の意見集約を報告し、協議会として答申内容の協議と確認をしました。

答申要旨

地区振興センター・公民館の職員体制については、現行体制を維持すること。

地域住民の切実な願いは、「地域の振興」「生涯学習の推進」をする地区振興センターであり、地域の活動を一定の方向に導くコーディネート機能の充実が求められています。美都地域にとってはまさに今が「正念場」であり、地区振興センター・公民館は地域にとって重要な役割があり職員体制については、現行体制を維持することが必要です。

答申書の提出

答申書については、答申要旨に基づいて、7月15日美都地域協議会大石康人会長、田中宜職務代理により益田市長へ答申書を提出しました。

連絡先

美都総合支所 地域振興課
☎(0856)511311

浴衣で？ピンポン大会

8月8日(日) 美都温泉湯元館で『第3回浴衣で？ピンポン大会』が開催されました。当日は思い思いの衣装をまとった18組(36名)の選手が「運命のいたずら？」なラケットを片手に笑いあり、感動？ありの試合を繰り広げました。



実力、運！？が必要です

ふるさと会員への登録や、当情報誌についてのご意見やご要望、または、紹介したいモノや人、グループなどがございましたら是非お知らせください。

なお、ふるさと会員の登録は無料です。お問合せ等は上記電話番号またはメールアドレス
chiki-m@city.masuda.lg.jp まで
担当：城市

都茂地区では毎年7月21日、都茂八幡宮で祇園祭りが行われ、合わせて美都総合支所前（旧美都町役場）で祇園夜市が開催されました。

ステージでは、地元の斎藤政健さんによるブルーシートとマジックシヨの他、市内でバンド活動を続けるメガネヤ、トロンボーンなどの演奏活動続けるセミナー、小さな子から大人まで楽しめるバンドのシユークリムの演奏で会場は大盛り上がり！



大人気のブルーシート

屋台では地元の商店や団体から美味しい飲食品が販売され、約500人の



シユークリムの演奏

お客さんで賑わい、夕方6時から9時過ぎまで開催されました。



子ども達の提灯行列

二川地区では7月に双川峡祭り、新宮神社の夏祭り、8月15日には二

美都町今昔

☆58災害

昭和58年7月23日、美都町は戦後最大の水害が起こり、不幸にも8名の方々が亡くられました。当時の記録では、被害額162億円（国県分を除く）であり、この年の美都町一般会計予算16億2千万円の10年分に匹敵する爪痕が残りました。災害時、電気・電話・ガス・水、何も無い不自由な生活に辛抱するしかありませんでした。



災害当時



平成22年

仙道郷付近

しかし、翌日にはヘリコプターにより、人工透析患者を益田市の病院に搬送したり、電池やローソク等の緊急生活物資が届きました。更に25日にはヘリコプターが20回離着陸し、妊産婦の搬送や、米・燃料・飲料水・薬・警察無線等が届きました。26日には宇宙衛星「さくら2号」による電話開通試験を行い、27日には、都茂保育所前に、連絡できる電話が6回線設置され、救援のヘリコプターは述べ131回にのぼりました。



災害当時



平成22年

大谷時計店前（都茂）

その後昭和60年、昭和63年と度重なる水害も発生しましたが、急ピッチで復旧が行われ、国道191号も完成しました。

※災害当時の写真は災害記録集（美都町発行）より掲載

ゆずの町からの贈り物に

道の駅「サンエイト美都」

平成6年1月16日オープン

売店にはゆずの商品が約50品あり、おみやげや贈り物に喜ばれています。新しく「ゆずサイダー」「ゆずアイスクランデー」が仲間入りしました。食堂では「木久蔵ラーメン」「ゆずらーめん」をはじめ「ゆずソフトクリーム」が大人気！お食事、おみやげ、ギフトなどのご利用の際は、ぜひ来んちゃい。



詳しくは、[美都温泉](#) [湯元館](#)を検索、ページ内をご覧ください。

川納涼神楽鑑賞会が開催されました。



舞台は川の上

この鑑賞会は美都温泉湯元館ができたのを契機として、お盆に帰省した「地区出身者の人たちに石見神楽を鑑賞してもらいたい!!」との思いから、湯元館周辺の矢原川を会場と



大迫力！！

して始まりました。

ここ2年は雨天のため、屋内での開催が続きましたが、今年は晴天に恵まれ、屋外での開催となり、石見神楽保存会久城社中による『塵輪』『恵比寿』『鐘馗』など5演目が舞われました。



かぶりつきで大興奮

今年も帰省客や町内外からのお客さんで賑わい、かぶりつきで観ている子ども達の姿も見られ、夜遅くまでドンチッチ…ドンチッチ…と響いていました。